

令和 5 年度温排水影響調査結果＜参考資料＞ (夏季)

I．拡散調査

- 1．水温水平分布
- 2．水温鉛直分布

II．付着生物調査

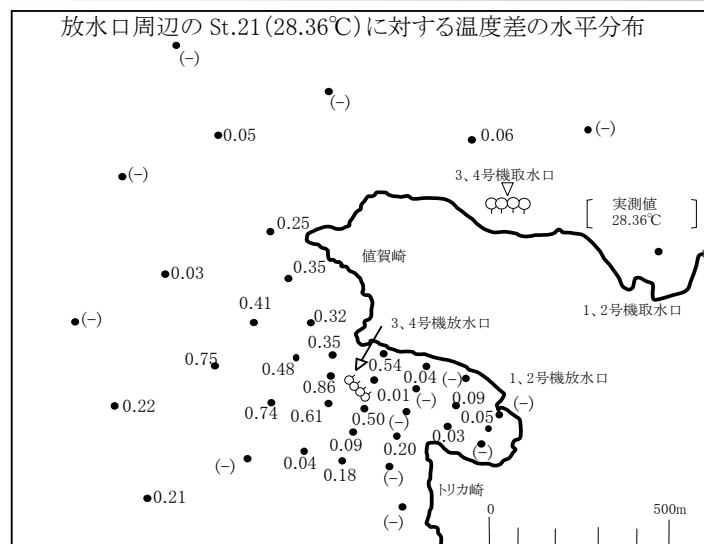
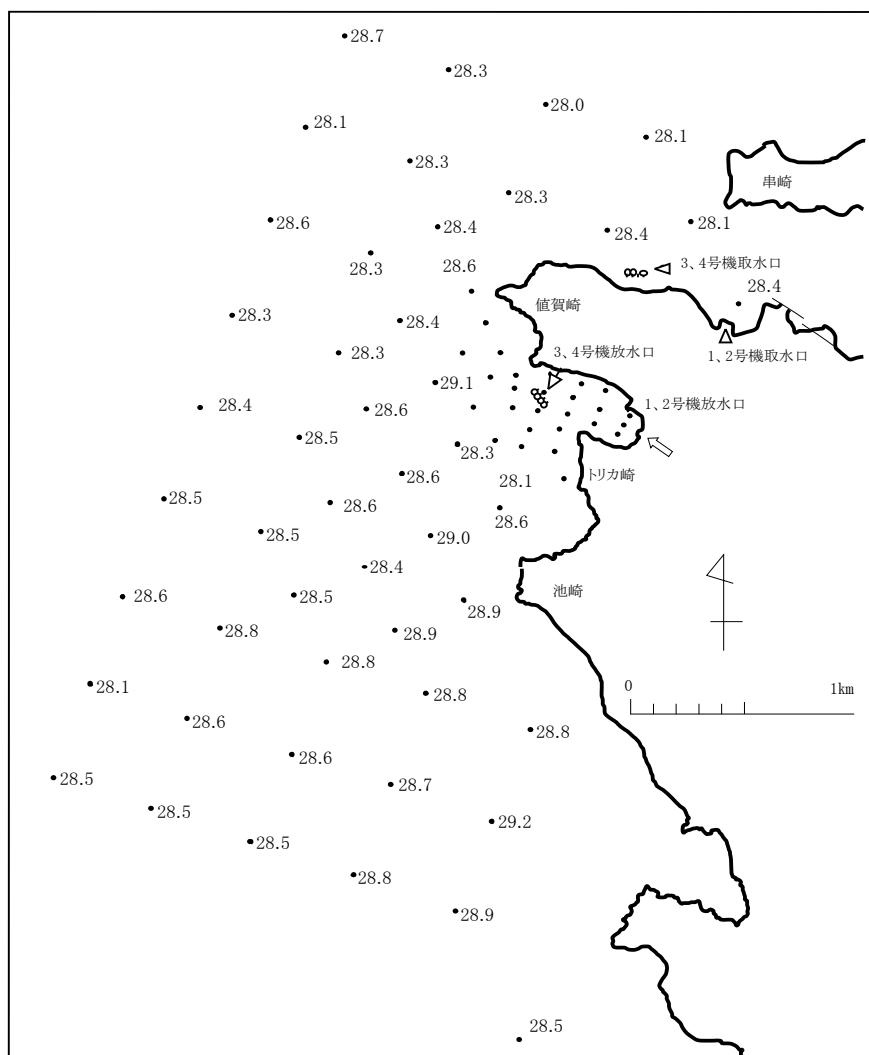
- 1．主な付着生物出現種一覧
- 2．付着生物調査結果

I. 拡散調査

1. 水温水平分布

【下げ潮時】

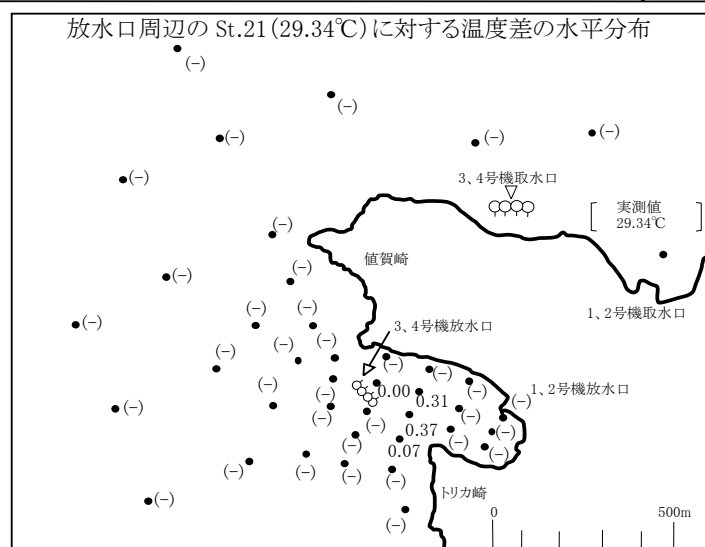
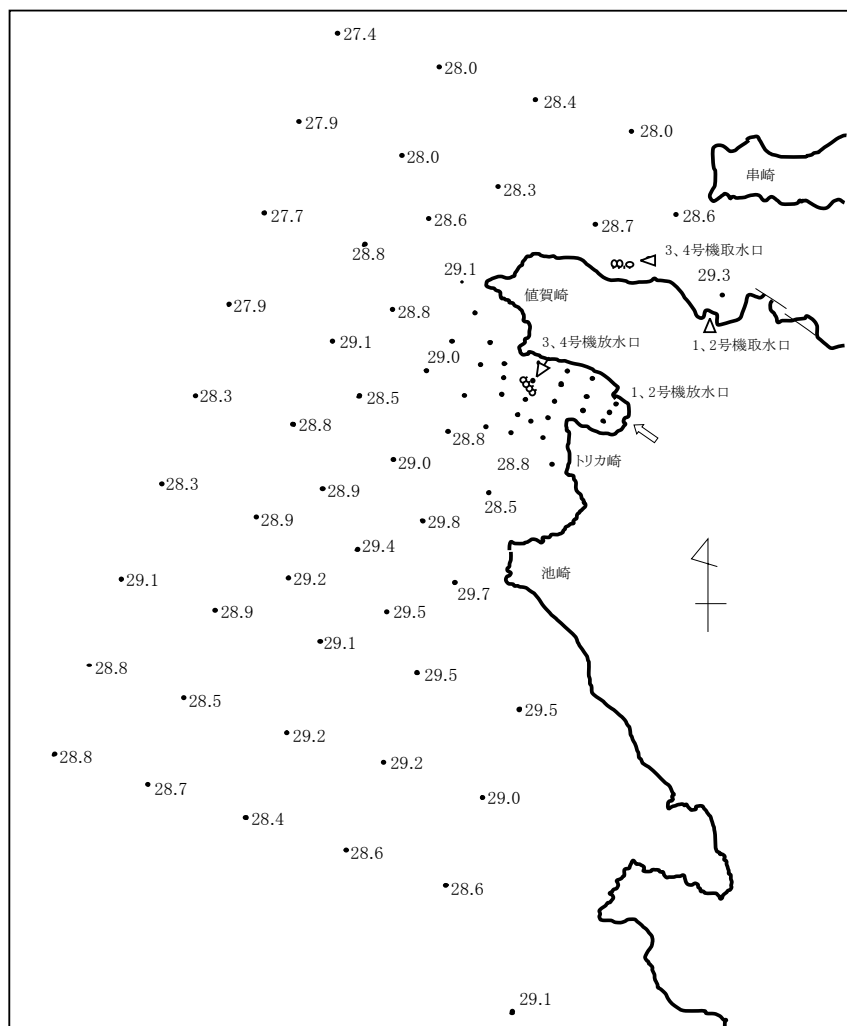
水深 1m 層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



(-) : 取水口付近 (st.21) に対し、低い水温が観測された地点を示す

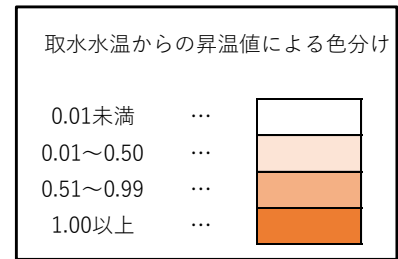
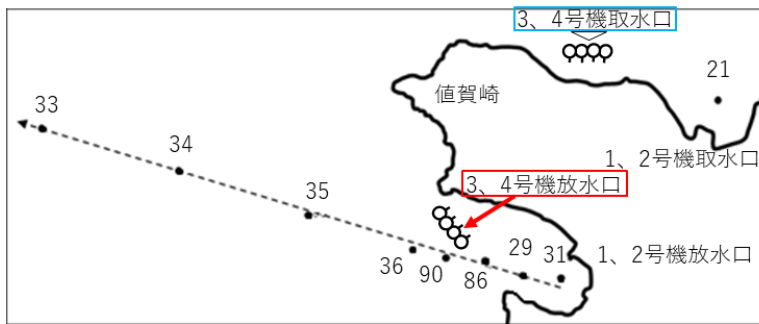
【上げ潮時】

水深 1m層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



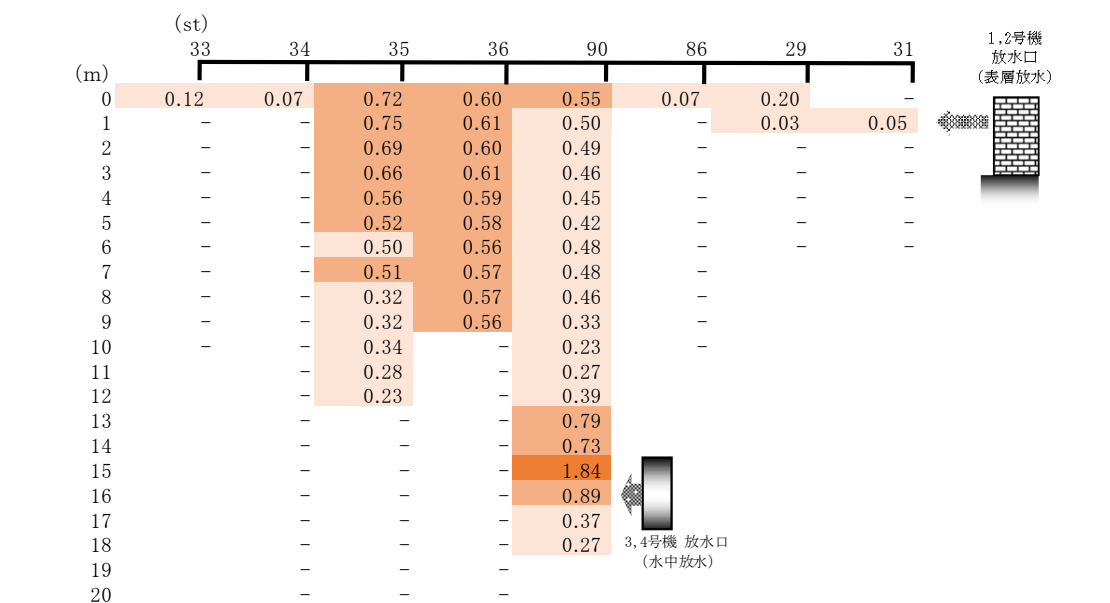
(-) : 取水口付近 (st.21) に対し、低い水温が観測された地点を示す

2. 水温鉛直分布

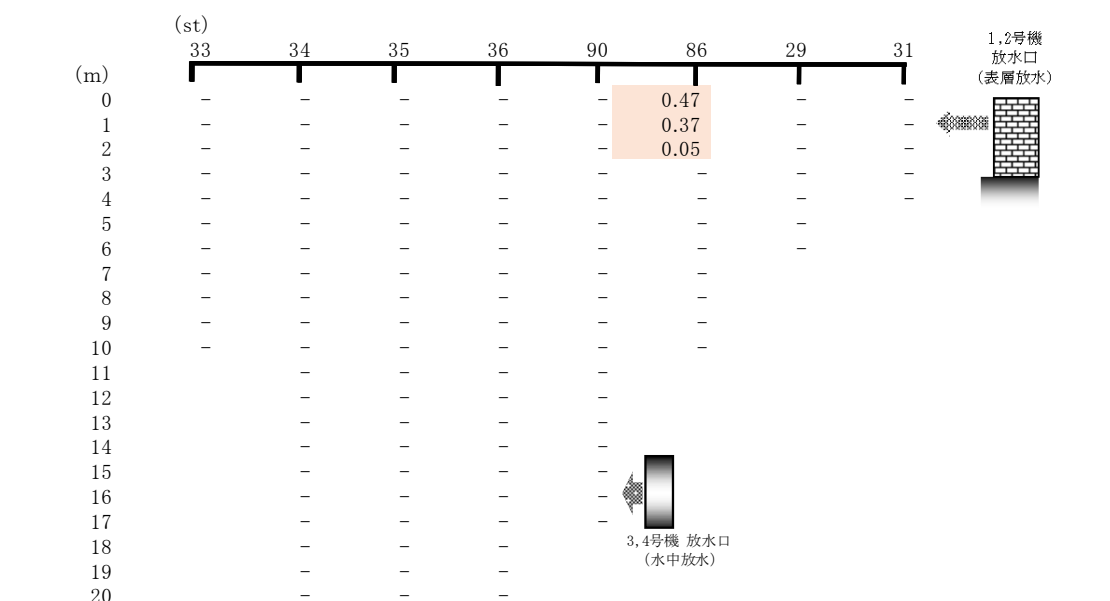


- :取水水温に対し、低い水温が観測された地点

【下げ潮時】



【上げ潮時】



II. 付着生物調査

1. 主な付着生物出現種一覧

【動物】

イソギンチャク目



ヒザラガイ



ベッコウザラ



マツバガイ



ヨメガカサ



シロガイ属



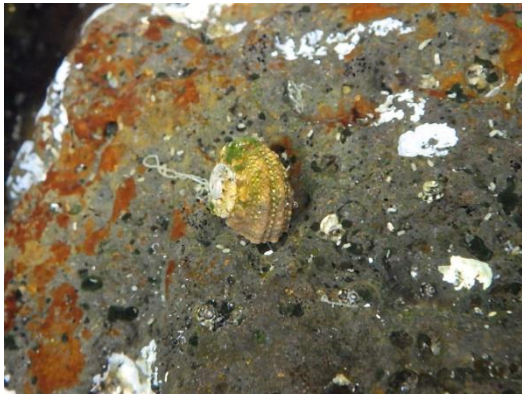
イシダタミ



クマノコガイ



スガイ



アラレタマキビ



イソニナ



ムラサキインコ



ケガキ



ヤッコカンザシ



カメノテ



イワフジツボ



クロフジツボ



ムラサキウニ



【植物】

イシゲ



イワヒゲ



ヒジキ



ウミトラノオ



イソモク



サビ亜科



サンゴモ亜科



2. 付着生物調査結果

【潮間帯付近の動物】

No.	種類					調査側線										
						A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3	
1	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目		イソギンチャク目	r	r		r		r	r	r	r	r	
2※	軟体動物門	ヒサ'ラガイ綱	ヒサ'ラガイ目	ヒサ'ラガイ科	ニシキヒサ'ラガイ				r				r			
					ヒサ'ラガイ	c	c	c	c		r	r	c	r	r	
3※		マキガイ綱	オキナエビス目	ツタノハ科	ヘ'ッコウサ'ラ		r				r	r				
					マツハ'ガイ		r		r	r	r	c	r		r	
					ヨメガ'カサ		r	r	c	c	c	r	c		r	
					ユキノカサ科	ウノアシ	r	r		r	c	r	r	r	r	r
						シロガイ属	r		r	c		r	c		r	r
						アオガイ属				r		c	c	r		r
					ニシキウス'科	インダ'タミ						r	c	r		r
						クボ'ガイ						r		r		
						クマノコ'カイ						r	r	r		
						オオコシタカ'ガンガラ				r						
4					コシタカ'ガンガラ					r		r				
5					リュウテン科	サザ'エ				r						
6						スガイ	r			r				c		
7					アマオブ'ネ科	アマガイ					r	c	r	c		
8						タマキヒ'カイ科	cc	cc	cc	c	c	cc	cc	c	cc	c
9					ムカデ'ガイ科	タマキヒ'ガイ科						c				
10						オオヘビ'ガイ					r					
11					ハ'イ目	アケキガイ科	レイシ'ガイ	r	r		r				r	
12※							イボ'ニシ	r	c	r	c	r	r	c		r
13						エゾ'ハ'イ科	イソ'ニナ				r		r	r	r	
14																
15	ニマイガイ綱	イガイ目	イガイ科	ムラサキ'ンコ (被度%)	c	cc	cc	cc	cc	r	r		r	r		
16			ウグ'イスガイ目	イタボ'ガキ科	ケガキ	r		c	cc	cc			r	r	r	
17			ハマグ'リ目	イワホ'リガイ科	イワホ'リガイ科			r	r	r		r				
20	環形動物門	ゴ'カイ綱	ケヤリ目	カンザ'シゴ'カイ科	ヤッコ'カンザ'シ (被度%)	r	r	r	r		r	r	r	r	r	
21	節足動物門	甲殻綱	フジ'ツボ'目	ミョウガ'ガイ科	カメ'ノテ (被度%)	r	cc	r	c	r	r	r		r	c	
22				イワフジ'ツボ'科	イワフジ'ツボ' (被度%)	cc	r	r	r		r			r	r	
23				フジ'ツボ'科	クロフジ'ツボ' (被度%)	cc	cc	cc	r	cc				cc	r	r
24				棘皮動物門	ウ'ニ綱	ホンウ'ニ目	ナガ'ウ'ニ科	ムラサキ'ウ'ニ	r	c	r	c				

注1:「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる ccc:多く見られる」

注2:「No.2、No.3、No.12」は、H10年度の調査結果と比較するため、旧分類でまとめて計上

注3:個体数として計測することが困難な種類は被度(%)で測定し、種類の欄に「(被度%)」と記載

【潮間帯付近の植物】

No.	種類					調査側線									
						A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3
1	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属	r	r		r				r	r	r
2	褐藻植物門	同形世代綱	アミシグサ目	アミシグサ科	アミシグサ科		r				r		r		
3			ナガマツモ目	イシゲ科	イシゲ	r	cc	r	r	r	r		r	r	r
4			ハハモトキ目	コモンブクロ科	イワヒゲ	r					r				r
5		円胞子綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒシギ	c	c	c	c	c	r		c		r
6					ウストラノオ	c	r	r	r		r		r	c	c
7					イソモク						r				
8					ホンダワラ属			r			r				
9	紅藻植物門	真正紅藻綱	テングサ目	テングサ科	ヒメテングサ	r	r	r	r		r	r	r	r	r
10					テングサ科	r	r				r	r	r		r
11			カクレイト目	サンゴモ科	サビ亜科	c	c	c	cc	cc	cc	r	cc	r	cc
12					サンゴモ亜科	c	c	r	r	cc	r		r		r

注1:「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる ccc:多く見られる」

<凡例> 【潮間帯付近の動物】

平均個体数（個/枠）

1個未満	r
1個以上～10個未満	c
10個以上～50個未満	cc
50個以上～100個以下	ccc

平均被度（％）

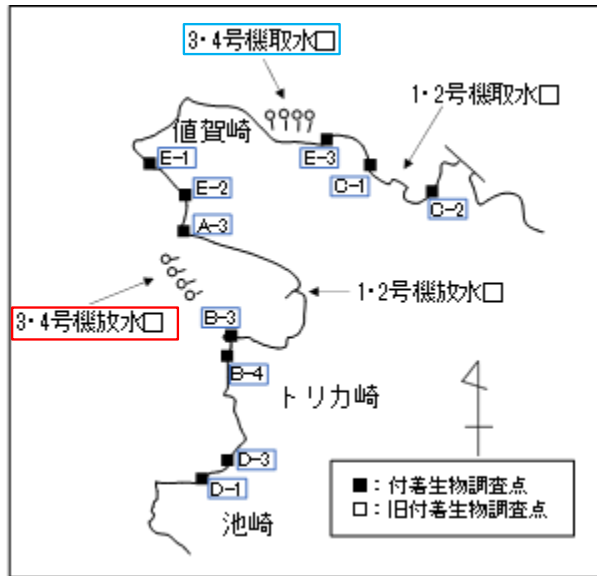
0.1%未満	r
0.1%以上～1%未満	c
1%以上～10%未満	cc
10%以上～100%以下	ccc

【潮間帯付近の植物】

平均被度（％）

1%未満	r
1%以上～5%未満	c
5%以上～20%未満	cc
20%以上～100%以下	ccc

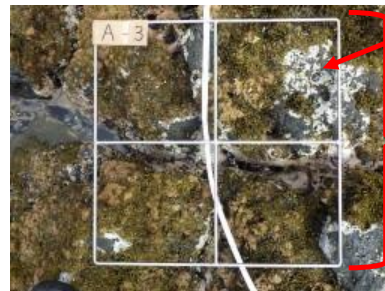
付着生物調査の概要



【調査地点（調査ライン）】



ライン

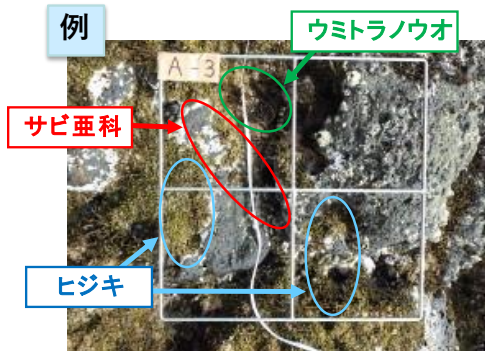


観察点
(A-3ラインは
全17地点)

50cm

岸側から海岸線までラインを引き、1.5m間隔で縦横50cmの枠内の付着生物を調査。
調査ラインは全10ライン。（最短6m、最長33m）

付着生物調査の概要②



【調査ラインA-3：観察点15（夏季）】

【観察点15の植物の出現状況】

分類		被度	平均被度	区分
褐藻植物門	イシガ	5%未満	1%未満	r
	イビゲ	5%未満	1%未満	r
	ヒジキ	10%	1%	c
	ウミトラノオ	5%	2%	c
紅藻植物門	サビ亜科	10%	4%	c
	サンゴモ亜科	10%	2%	c
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

観察

平均

被度：各生物が占める
面積の割合(%)

17地点の
種類を計数

調査ラインA-3上の全ての
観察点（17地点）を平均
し、出現状況を評価

観測点毎の付着生物の
種類及び数量（個体数、
被度）を確認

ラインA-3で出現した植物：計9種

【参考：付着生物の個体数及び被度の区分】

区分		動物		植物
		平均個体数（個／枠）	平均被度（%）	平均被度（%）
r	極少量見られる	1個未満	0.1%未満	1%未満
c	少量見られる	1個以上～10個未満	0.1%以上～1%未満	1%以上～5%未満
c c	普通に見られる	10個以上～50個未満	1%以上～10%未満	5%以上～20%未満
c c c	多く見られる	50個以上～100個以下	10%以上～100%以下	20%以上～100%以下